

simakDialog

simakDialog(シマク・ディアログ)



simakDialog (シマク・ディアログ :「会話に耳を傾ける」の意) はインドネシアの首都であるジャカルタを拠点に国際的に活動するバンドで、その歴史は 1993 年にキーボーディスト・作曲家の Riza Arshad (リザ・アルシャド) がバンドを結成したことに始まります。

simakDialog の音楽は、非常に豊かな民族文化を擁したインドネシアの音楽環境にあって、サイケデリックなフリーフォーム・ジャズやロックをベースにガムラン音楽を融合させたところに最大の特徴があり、寺院における古来の祭礼音楽への深い理解と、さらに西欧のクラシック、ジャズ、ロック、そしてジャワ地方に伝わる民族的リズムをクロスオーバーさせたものといえます。

バンドの構成はキーボード、ベース、ボーカルに加えてケンダンというスダ地方の伝統的な両面太鼓を用いており、一般のドラムセットは使用していません。

simakDialog は、”Lukisan”, “Baur”, “Trance/Mission”, “Patahan”, “Demi” “Masa”, “The 6th Story”, “Live at Orion”とコンスタントにアルバムをリリースし、2003 年にはインドネシア・ミュージック・アワードで「ベスト・ジャズ/コンテンポラリー・アルバム」および「ベスト・ジャズ/コンテンポラリー・プロダクション」の 2 つの賞を受賞しています。また、2008 年のアルバム”Demi Masa”はイタリアでイタリアン・プログレッシヴ・ミュージック・アワード 2010 にベスト・アルバムとしてノミネーションされました。

国際的なデビューは 2007 年の”Patahan”で、その際にニューヨークの Moonjune Records とリリース契約を結んでいます。その後インドネシア国内はもとより、シンガポール、マレーシア、ネパール、ドイツ、アメリカで公演を行い、高い評価を受けています。

simakDialog

メンバー紹介



Riza Arshad (リザ・アルシャド)

– ピアノ、エレクトリック・ピアノ

バンドの創始者・リーダーであるリザ・アルシャドは6歳でピアノを始め、15歳の時に兄のルークのバンド「Rara Ragadi」でプロ・デビュー。また、1989年から1997年にかけて、ルークと共にアメリカで「Ragadi Music」というレコードレーベルを共同経営。

1993年にシマク・ディアログを結成し、2003年と2013年にAMI(インドネシア・ミュージック・アカデミー)アワードを受賞するなど活動の幅を広げてきました。また、国内でさまざまなジャンルの音楽のプロデューサーとしても活躍しています。



Cucu Kurnia (チュチュ・クルニア)

– スンダ・ケンダン (スンダ地方の両面太鼓)、金属楽器
クク・クルニアは8歳でケンダンと呼ばれる両面太鼓の演奏を始め、ジャワ島西部に位置するスンダ地方の中心地であるバンドンの州立伝統音楽院で研鑽を重ねる。シマク・ディアログに参加する前には「Zithermania」(ツィターマニア)という4人のツィター奏者とケンダンによるバンド、そして2008年には「Authority」(オーソリティー)というロック・バンドにドラムスとペアを組む形でケンダン奏者として在籍。現在ではシマク・ディアログに在籍する傍ら、現代ケンダン奏者の中にあって独自のスタイルを確立し、スンダ民族音楽グループ「Malire」(マリーレ)他いくつかのグループを率いている。

simakDialog



Mian Tiara (ミアン・ティアラ)

- ボーカル

ミアン・ティアラはボーカリスト、シンガー・ソングライターとして楽曲に対する直感的アプローチにより独自の世界を作りだしてきました。「My Own Company」(マイ・OWN・カンパニー)というアルバムを発表しており、ここではリザ・アルシャドが音楽監督を務め、またジョン・スコフィールドのバンドのギタリスト、Avi Bortnik(アヴィ・ボルトニック)が参加。2003年には「Rumah Ketujuh」(第7ハウス)のサウンドトラックでAMI アワードを受賞。



Rudy Zulkarnaen (ルディー・ズルカルナエン)

- アップライトベース、エレクトリック・ベース

ルディー・ズルカルナエンは3年間のゲスト出演を経て2010年にシマク・ディアログに正式加入。2013年、2014年にはバンドと共にドイツ、アメリカ・ツアーに参加。ジャカルタとバンドンというインドネシアの二大都市における著名なセッション・ミュージシャンとしてシマク・ディアログの他にも多くのメインストリーム・バンドに参加している。

simakDialog

バンドの聴きどころ

プレイヤーの個性を尊重するジャズと同様、演奏者の感覚により音階が成立する伝統的なガムラン。その二つを本質的に理解し新たな表現へと発展させた、これまでどこにもなかった音楽。

ケンダンについて

インドネシアのジャワ島西部に住むスダ族に伝わる両面に皮を張った細長い太鼓で、ガムラン音楽のリズムを担当する重要な楽器です。また、インドネシアで近年流行しているジャイポンガン（またはジャイボン）と呼ばれる伝統芸能を現代的に発展させた舞踊の伴奏は主にケンダンによって演奏されます。